

# 原三溪・野村洋三 横浜スタディーツアーのご案内

## ～横浜三溪園特別参観と文化講演会～ 横浜との交流の旅

現在の横浜の発展の礎は、原三溪と野村洋三という二人の岐阜出身の経済人の尽力によるところが大きいと言われてしています。

原三溪は岐阜市柳津町の出身で、生糸で財をなし、「世界のハラ」として世界を舞台に活躍し、近代茶を興した三大茶人として、日本画壇の父として、関東大震災では横浜復興会長として横浜の復興に貢献しました。

一方、野村洋三もサムライ商会として世界的に有名な古美術商として活躍し、震災後は復興会事務局長として活躍し、ニューグランドホテル会長や横浜商工会議所会頭として、日米協会会長として横浜の復興と発展のため尽力いたしました。

そのため現在でも二人は、横浜の市民や各界のリーダーたちに崇敬の念を以て語り伝えられています。

この度、関係する諸団体が相携えて原三溪・野村洋三 横浜スタディーツアー実行委員会を組織して、三溪翁や洋三翁の顕彰をとおした横浜との交流の旅を開催する運びとなりました。

内容としては、三溪園の特別参観と講演会や中華街での交流懇親会や岐阜・横浜の茶道愛好家によるお茶席をとおして、岐阜と横浜の市民、教育文化、行政、産業界との交流を行うものであります。

講師には、日本文化、特に茶道文化や和食文化研究の第一人者である元静岡文化芸術大学学長で今春、みほミュージアム館長に就任された 熊倉 功夫先生 をお招きし、三溪翁の茶とその人柄についてご講演をいただきます。

皆様お誘い合わせの上、御参加いただきますようご案内申し上げます。

### 記

日時 平成28年11月28日(月)・29日(火) 初日 午前7時30分発 ～ 二日目 午後9時帰着  
場所 三溪園 横浜市中区本牧三之谷  
宿泊 ホテルニューグランド(山下公園前)  
主催 原三溪・野村洋三 横浜スタディーツアー実行委員会  
後援 大野町・岐阜市教育委員会・大野町教育委員会  
挨拶 野村弘光 三溪園理事 「野村洋三と横浜」  
講演 熊倉 功夫 先生『三溪翁の茶とその人』前静岡県立文化芸術大学学長・MIHO MUSEUM 館長

-----  
切り取り  
-----

### 原三溪・野村洋三 横浜スタディーツアー 申込書

参加者①		参加者②	
生年月日	年 月 日	生年月日	年 月 日
ご住所	〒		
電話番号		性別○印	① 男・女 ② 男・女
携帯電話		所属団体	
乗車場所①	月 日( )	午前7時15分	大野町庁舎前 集合
乗車場所②	① ②いずれかに○を 午前7時30分 JR岐阜駅十六プラザ前 集合		
※前日キャンセルは5割負担、当日キャンセルは10割負担願います			

FAX 送信先

058・233・8988

## 原三溪・野村洋三 横浜スタディーツアー

### ～横浜三溪園特別参観と文化講演会～ 横浜との交流の旅

○日 時 平成28年 11月28日(月)～29日(火)

○集 合 大野町庁舎前 集合7時15分 出発7時30分

JR 岐阜駅十六プラザ前 集合7時45分 出発8時

○旅行代金 一人38,000円 ○募集人員40人(最小催行人員30人)

○旅程 28日(月) 7時30分 大野町庁舎 出発

8時 JR 岐阜駅十六プラザ前 出発

14時 横浜三溪園到着 園内特別参観 茶席あり

17時 ホテル着

18時～20時30分 夕食懇親会 中華街 状元楼 045・641・8888

29日(火) 8時30分 ホテル出発

9時 三溪園到着自由時間

9時30分 講演会 鶴翔閣(内苑)

12時 昼食 待春軒(外苑)

14時 横浜出発

20時30分 JR 岐阜駅十六プラザ 着

21時 大野町庁舎 着



○募集受付 横浜スタディーツアー事務局 丹羽 TEL 058・213・0008

○旅行取扱 ゆっくり旅行

○振込先 十六銀行今沢町支店 普通 1252082 有限会社ゆっくり旅行代表取締役 丹羽悟

○申込締切 11月15日(火) 満席になり次第締め切ります

**熊倉 功夫先生** 京都大学人文科学研究所助手。講師。筑波大学助教授、教授。国立民族学博物館第一

研究部教授。同部長、民族文化研究部部長。名誉教授、林原美術館館長。静岡県立文化芸術大学学長。農水省食料・農業・農村政策審議会会長。『和食』文化の保護・継承 国民会議 会長としてユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の「無形文化遺産」登録に貢献、現在 みほミュージアム館長

著作『茶の湯 わび茶の心とかたち』『民芸の発見』『近代茶道史の研究』『後水尾院』『南方録を読む』『昔の茶の湯 今の茶の湯』『茶の湯入門』『茶の湯の歴史 千利休まで』『小堀遠州の茶友たち』『寛永文化の研究』『近代数奇者の茶の湯』『文化としてのマナー』『日本料理文化史 懐石を中心に』『日本料理の歴史』『茶の湯といけばなの歴史 日本の生活文化』『茶の湯日和—うんちくに遊ぶ』『日本人のこころの言葉 千利休』



【お問合せ先】 ツアー事務局 丹羽 090・6803・0888